

九条の会・兵庫県医師の会 市民学習会

“武装解除のプロ”伊勢崎賢治が語る

日本人と 戦争の これから

安倍政権は昨年7月に集団的自衛権行使容認の解釈改憲を閣議決定で行い、今年の通常国会では米国の戦争にいつでもどこでも自衛隊が参戦・協力することを可能とする「国際平和支援法案」と「平和安全法制整備法案」を提出し、さらに来夏の参議院選挙後には改憲の国民投票の実施を狙っています。自衛隊が海外での戦争に加担することで、自衛隊員が人を殺すこと、自衛隊員が殺されることを私たち日本国民は許すことができるのでしょうか？そして、自衛隊の軍事協力で本当に世界平和に貢献することができるのでしょうか？世界各地の武装解除を手がけた“紛争屋”伊勢崎賢治氏に、戦争のリアリティと平和国家・日本が進むべき道についてお話いただきます。

日時 9月6日(日) 14:00～16:00

会場 兵庫県保険医協会5階会議室

定員 200人(事前申込・先着順 どなたでもご参加できます。)

資料代 500円

主催 / 九条の会・兵庫県医師の会

共催 / 兵庫県保険医協会、兵庫県民主医療機関連合会、兵庫県反核医師の会、
九条の会・医療者の会(全国)

伊勢崎 賢治 (いせざき・けんじ)氏

東京外国語大学大学院総合国際学研究科教授。1957年東京生まれ。早稲田大学大学院理工学研究科修士課程修了。インド留学中、スラム住民の居住権獲得運動を組織。その後、国際NGOに在籍し、アフリカで開発援助に携わる。国連PKO幹部として東ティモール暫定政府の知事を努め、シエラレオネで武装解除、アフガニスタンでは日本政府特別代表として同じく武装解除を指揮する。著書に『インド・スラム・レポート』(明石書店)、『東子モール県知事日記』(藤原書店)、『武装解除』(講談社現代新書)、『アフガン戦争を憲法9条と非武装自衛隊で終わらせる』(かもがわ出版)、『国際貢献のウソ』(ちくまプリマー新書)、『紛争屋の外交論』(NHK出版新書)、『日本人は人を殺しに行くのか』(朝日新書)、『本当の戦争の話をしよう:世界の「対立」を仕切る』(朝日出版社)などがある。アフガニスタンでトランペットを始め、定期的にJAZZ Liveを開催している。



「九条の会」アピール

日本国憲法は、いま、大きな試練にさらされています。ヒロシマ・ナガサキの原爆にいたる残虐な兵器によって、五千万を越える人命を奪った第二次世界大戦。この戦争から、世界の市民は、国際紛争の解決のためであっても、武力を使うことを選択肢にすべきではないという教訓を導きだしました。

侵略戦争をしつづけることで、この戦争に多大な責任を負った日本は、戦争放棄と戦力を持たないことを規定した九条を含む憲法を制定し、こうした世界の市民の意思を実現しようと決心しました。

しかるに憲法制定から半世紀以上を経たいま、九条を中心に日本国憲法を「改正」しようとする動きが、かつてない規模と強さで台頭しています。その意図は、日本を、アメリカに従って「戦争をする国」に変えるところにあります。そのために、集団的自衛権の容認、自衛隊の海外派兵と武力の行使など、憲法上の拘束を実際上破ってきています。また、非核三原則や武器輸出の禁止などの重要施策を無きものにしようとしています。そして、子どもたちを「戦争をする国」を担う者にするために、教育基本法をも変えようとしています。これは、日本国憲法が実現しようとしてきた、武力によらない紛争解決をめざす国の在り方を根本的に転換し、軍事優先の国家へ向かう道を歩むものです。私たちは、この転換を許すことはできません。

アメリカのイラク攻撃と占領の泥沼状態は、紛争の武力による解決が、いかに非現実的であるかを、日々明らかにしています。なにより武力の行使は、その国と地域の民衆の

生活と幸福を奪うことでしかありません。一九九〇年代以降の地域紛争への大国による軍事介入も、紛争の有効な解決にはつながりませんでした。だからこそ、東南アジアやヨーロッパ等では、紛争を、外交と話し合いによって解決するための、地域的枠組みを作る努力が強められています。

二〇世紀の教訓をふまえ、二一世紀の進路が問われているいま、あらためて憲法九条を外交の基本にすえることの大切さがはっきりしてきています。相手国が歓迎しない自衛隊の派兵を「国際貢献」などと言うのは、思い上がりでしかありません。

憲法九条に基づき、アジアをはじめとする諸国民との友好と協力関係を発展させ、アメリカとの軍事同盟だけを優先する外交を転換し、世界の歴史の流れに、自主性を発揮して現実的にかかわっていくことが求められています。憲法九条をもつこの国だからこそ、相手国の立場を尊重した、平和的外交と、経済、文化、科学技術などの面からの協力ができるのです。

私たちは、平和を求める世界の市民と手をつなぐために、あらためて憲法九条を激動する世界に輝かせたいと考えます。そのためには、この国の主権者である国民一人ひとりが、九条を持つ日本国憲法を、自分のものとして選び直し、日々行使していくことが必要です。それは、国の未来の在り方に対する、主権者の責任です。日本と世界の平和な未来のために、日本国憲法を守るという一点で手をつなぎ、「改憲」のくわだてを阻むため、一人ひとりができる、あらゆる努力を、いまずぐ始めることを訴えます。

2004年6月10日

「九条の会」アピール

井上ひさし (作家) Inoue Hisashi	梅原 猛 (哲学者) Umehara Takeshi	大江健三郎 (作家) Oe Kenzaburo	奥平康弘 (憲法研究者) Okuhira Yasuhiro	小田 実 (作家) Oda Makoto	加藤周一 (評論家) Kato Shuichi	澤地久枝 (作家) Sawachi Hisae	鶴見俊輔 (哲学者) Tsurumi Shunsuke	三木睦子 (国連婦人会) Miki Mutsuko
--------------------------------	----------------------------------	-------------------------------	-------------------------------------	----------------------------	-------------------------------	-------------------------------	-----------------------------------	---------------------------------

お問い合わせ先

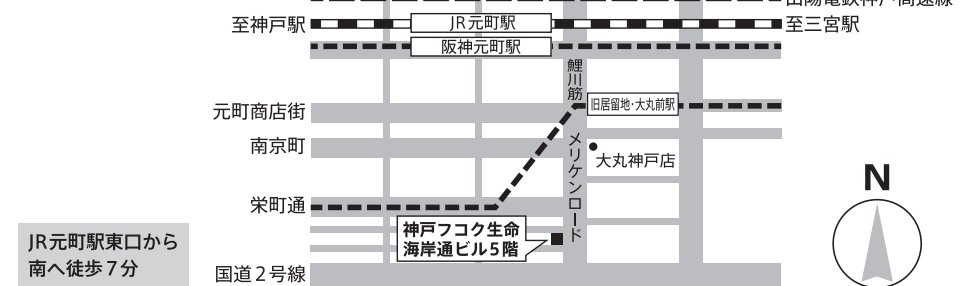
兵庫県保険医協会

〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31
神戸フコク生命海岸通ビル5階
TEL:078-393-1801 FAX:078-393-1802
E-mail:hyogo-hok@doc-net.or.jp

兵庫県民主医療機関連合会

〒650-0047 神戸市中央区港島南町5-3-7
TEL:078-303-7351 FAX:078-303-7353
E-mail:kenren-hp@hyogo-min.net

会場アクセス



お申し込みは兵庫県保険医協会まで **FAX.078-393-1802**



『“武装解除のプロ”伊勢崎賢治が語る日本人と戦争のこれから』 **9/6(日)**
参加お申し込み書 参加確認のため、ご連絡先、医療機関または団体名、お名前をご記入のうえ、上記までFAXください。

<input type="checkbox"/> 学習会に参加します()人	電話/FAX
<input type="checkbox"/> 九条の会アピールに賛同します	医療機関・団体名
	お名前